



町民投稿

龍宮(星)に人智の及ぶ十三夜(千代美)

2019.10

No.145

松川町議会です

シリーズ「えがお」



政策と事業の結果と成果は

2~4ページ

「議会と語る会」のお知らせ

12ページ

新町政を質す 一般質問

14~21ページ

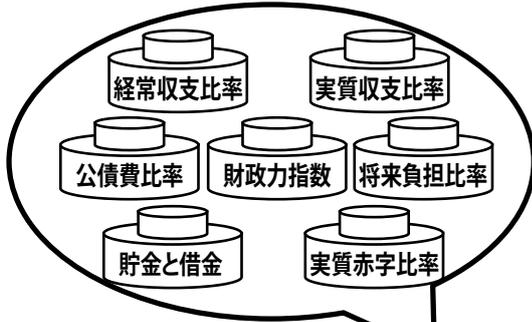
企業会計)

を含めて105億3,812万円の決算

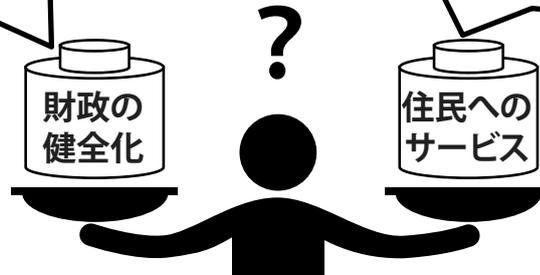
認定

決算に対する総括質疑

財政の健全化



住民サービスの充実

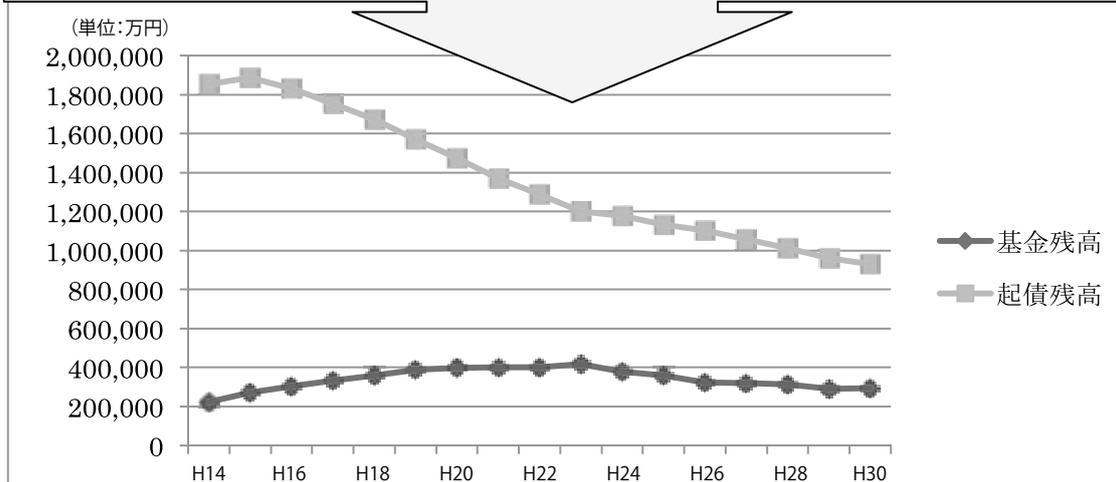


財政の健全化 ⇔ 住民サービスの充実!!
どのように両立させるかが財政運営の勘所

1年間を通して財政状況を示す健全化指数は、問題視する項目はなく住民へのサービスについても同様であると考えられる。過去からの流れから将来を予測し、健全化指数、住民サービスの向上について議会として注視が重要である。

基金（貯金）と起債（借金）の推移グラフ

それぞれのピークが基金（貯金）は平成23年、起債（借金）は平成15年。
その後、借金は半減となる一方で貯金は約3割減に留まっている。
大規模な公共事業も一段落し、行政の努力が伺え、今後に期待する。



平成30年度決算（一般会計・特別会計

一般会計60億5,959万円、特別会計・企業会計

政策と事業の結果と成果は？

質問 町税の納税にお

いて県滞納整理機構移
管案件や、**膠着化**
した税債権の回収が平成
29年度より進まなかつ
た原因は何か。

答弁 所有者の死亡、
納税義務者が不明、資
産の継承放棄で回収で
きないのが原因である。
県滞納整理機構移管案
件では大きな金額であ
り回収率が下がった。

質問 保養宿泊施設
で、入湯者の数が29年
度から30年度にかけて
3万人と激減している
が。

答弁 平成29年度に、
入湯料金の値上げを行
った。25周年記念の
町民向け無料チケット
を2回配布し、落ち込
みはカバーできた。30
年度は値上げの影響も
あり激変した。

質問 一般会計で、流
用している科目が多く

ある。自治法の中では

認められているが、大
きな金額は事前に議会
へ説明をするべきだが。

答弁 法律で認められ
ている部分であり、緊
急性のあるものに関し
てすみやかに措置をと
っている。時期的に間に
合えば補正などで、示
していく。大きい金額
についても補正という
考え方もあるので、内
部検討をする。



質問 企画費の報償で

不用額が発生している
のは、リニア建設工事
の対策委員会の報償費
だと思う。開催されな

かった理由と経過の説
明を。

答弁 リニア対策委員
会を数回設けていく予
定であったが、発生土
に関する課題を抱えて
いて、そちらを解決し
た後になる。

質問 財政構造の硬直
化を招くことのないよ
うにするには、どう改
善するのか。

答弁 財政構造の硬直
化を防ぐために、新年
度の事業に関して各課
から出したものを協議
していく。そのような
時間を設け、査定とい
う流れにしたい。



監査の視点

一般会計決算の実質収支は2億8
987万円の黒字で、前年度と比較し
1384万7千円の増になった。

町債残高は一般会計、特別会計を
合わせて総額92億9781万円で前
年度に比べ2億9433万7千円減
少。実質公債比率も7.4%と前年度
と変わりなく総じて健全な財政状況
が維持されている。

実質収支比率は7.1%と前年度よ
り0.4ポイント上昇。県下市町村の
平均7.4%を下回っているが、標準
財政規模からみると概ね適切といえ
る。県平均を下回っていることにつ
いては、町民に対するサービス提供
が適正に実施されていることがうか
がわれる。今後も財政状況や事業の
優先度を勘案しながら財源を活用し
ていくことが望まれる。

経常収支比率は87.1%となり、前
年度比3.6ポイント上昇。財政構造
の弾力性に乏しい状況が進んでいる
と考えられる。必要な公共サービ
スを提供するためには財政状況を常
に把握し、財政状況の硬直化を招くこ
との内容に引き続き改善に努めるこ
と。

質問 観光局がスタートして初めての決算である。高額な不用額が発生しているが、その内容について需用費、委託料、工事請負費などの説明を。

答弁 需用費については、観光費、まつかわ観光まちづくりセンターでのものだけではなく、町の観光施設の維持管理費も含めて計上してある。

6次産業化ネットワークの活動交付金事業はさんさんファーム、ましのワインのソフト事業が、国や県予算が採択されなかったため、予定した事業を見送った。

工事請負費については入札差金などがあるが、最終的に工事をした結果での不用額である。

質問 フォレストアドベンチャーの施設費のなかの需用費は、予算

額に対して半分の金額が不用額になっているが。

答弁 フォレストアドベンチャーのコストを少しでも下げて、営業成績を上げていくため、業者に頼まずに職員が対応をした。結果、材料費のみで抑えたことが原因である。



質問 公園管理費について、需用費と委託費の不用額が多いのではないか。

答弁 需用額については、公園施設の消耗品、草刈り機の燃料代、公

園施設の光熱費などである。委託料については、公園トイレの管理、遊具点検、バリアフリー化の設計監理業務などが少しずつの減額であった。

質問 平成30年度予算は、観光と防災に選択集中の予算化でスタートした。まつかわ観光まちづくりセンターは

昨年、ツリードームの本格設置が中心となっていて、ほかの事業が手薄だったのではないか。

答弁 旧青年の家の後利用の一環という位置づけと、まつかわ観光まちづくりセンターが1年目である。観光まちづくりの起爆剤にという思いで進めてきた。事業が手薄だというご指摘もあるが、組織的にも人的に基礎を作る時期だと思っている。

質問 地域の状況を把握する能力を、職員に

求められている。町として、高めていくためにどう考えているか。

答弁 地域状況の把握は、常日ごろの地域に出向いてその状況を知り、地域住民の皆さんの力を借りたり引き出したりして、地域住民の皆さんとともに作っていく。

討論

反対

平成30年度質問に対してきちんとした答弁がない。3億近い不用額が出た決算ではもう少し執行について、工夫ができたのではないか。

佐藤議員

議会の視点

予算現額に対し、科目区分の流用が289万4千円、予備費よりの充当が934万5千円と増えている。地方自治法では認められているが、大きな金額については事前に議会の同意を得るべきであり、議会軽視ではないか。

経常収支比率は87.1%と前年比3.6ポイント上昇し、24年度から上り続けている。主な要因としてサービスの多様化による人件費及び介護保険事業特別会計への繰出金の増である。県内町村平均80.6%と比較し、財政構造の硬直化が進んでいるとも考えられ、事業のスクラップ&ビルドへの取り組みなど、今後の改善も必要かと思われる。

平成30年度決算では5回の補正が行なわれ、一般会計では1億9664万円の不用額が発生している。予算編成時の精度を上げ不用額を減らす努力が求められる。

一般会計の歳入決算額は、町税は増加傾向にあるが自主財源比率は36.1%と2.4ポイント減少。景気動向などによる変動要素があるなかで、ふるさと応援寄付金など自主財源確保が求められる。

議 決 結 果

● 全員一致で議決されたもの

令和元年第3回定例会議決結果

件名	結果	内容
条例	可決	税条例等の一部を改正する条例の制定
	可決	環境性能の整った軽自動車税の軽減措置、個人住民税の非課税措置等の一部改正する条例。
	可決	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定
	可決	個人番号カードを使用しての多機能端末機等利用の利便性を高める。
	可決	森林環境整備基金条例の制定
締結	可決	水道条例の一部を改正する条例の制定
	可決	上位法（水道法）の改正に伴う条例の制定。
平成30年度決算	可決	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
	可決	自治法改正に伴う条文改正。
	可決	ブロック塀・冷暖設備対応臨時特例交付金事業松川中学校エアコン設置工事変更請負契約の締結について
	可決	松川中学校エアコン設置工事の契約変更による。
	認定	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
	認定	歳入 13億2,050万円 歳出 13億1,107万円
	認定	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
認定	歳入 1億6,287万円 歳出 1億6,199万円	
認定	介護保険事業特別会計歳入歳出決算	
認定	歳入 13億3,013万円 歳出 13億 591万円	
認定	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	
認定	歳入 3億7,508万円 歳出 3億5,809万円	
認定	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	
認定	歳入 4億2,638万円 歳出 3億8,882万円	
認定	保養宿泊施設事業特別会計歳入歳出決算	
認定	歳入 5億3,744万円 歳出 4億9,170万円	
認定	発電事業特別会計歳入歳出決算	
認定	歳入 1,605万円 歳出 992万円	
認定	水道事業会計決算	
認定	収益的収入 2億8,286万円 資本的収入 1,775万円 収益的支出 2億6,050万円 資本的支出 1億7,630万円	
令和元年度補正予算	可決	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2回）
	可決	307万円追加し、12億7,544万円とする。
	可決	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）
	可決	83万円追加し、1,626万円とする。
	可決	介護保険事業特別会計補正予算（第2回）
可決	2,022万円追加し、13億883万円とする。	
可決	保養宿泊施設事業特別会計補正予算（第1回）	
可決	2,119万円追加し、5億4,819万円とする。	
可決	発電事業特別会計補正予算（第1回）	
可決	613万円追加し、1,528万円とする。	
可決	下水道事業会計補正予算（第1回）	
可決	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億5,639万円は、引継金及び当年度分損益勘定留保資金で補填する。	
選任	同意	固定資産評価員の選任
	同意	久保 友二氏（新任）
	同意	教育委員会教育長の任命
	同意	高坂 敏昭氏（再任）
同意	教育委員会教育委員の任命	
同意	井口 由紀子氏（再任）	
同意	人権擁護委員の候補の推薦	
同意	木村 寛氏（新任） 北村 稔氏（新任）	

● 多数意見により議決されたもの

○ 賛成 ● 反対

件名	米山郁子	佐藤史人	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	菅沼一弘	黒澤哲郎	坂本勇治	能谷宗明	米山俊孝	島田弘美	間瀬重男	松井悦子	結果	内容
平成30年度決算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病欠	可決	歳入63億9,954万円 歳出60億5,959万円
令和元年度補正予算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	1億1,285万円追加し、 63億9,375万円

7月～9月 主な議会日程

7月2日(火)	議会臨時会 広報部会	8月28日(水)	議会全員協議会
7月5日(金)	広報部会	9月2日(月)	議会全員協議会
7月9日(火)	町村議会広報クリニック	9月5日(木)	第3回定例会日(総括)
7月10日(水)	" 新聞社・企画編集研修	9月9日(月)	総務産業建設常任委員会
7月10日(水)	国道153号線改良促進期成同盟会 設立総会	9月10日(火)	議会改革推進会議
7月25日(木)	議会改革推進会議	9月11日(水)	社会文教常任委員会
7月29日(月)	長野県議員研修会	9月18日(水)	第3回定例会一般質問
8月8日(木)	下伊那北部ブロック町村議会議員研修会	9月20日(金)	議会全員協議会 本会議再開 最終日
8月21日(水)	総務産業建設常任委員会	9月25日(水)	広報部会
8月26日(月)	中部伊那町村議会協議会議員研修会	9月30日(月)	広報部・広聴部会 ファシリテーション 勉強会
8月27日(火)	社会文教常任委員会		

令和元年度補正予算

何に使う？補正予算

補正予算額 1億1285万円

質問 保養宿泊施設の子供の居場所木質空間整備事業補助金44万9000円の内容説明を。

答弁 県の森林税が財源の補助金で、清流苑とスポーツ施設に小さい子供が遊ぶ積み木、木馬、輪投げ等を置いて子供が遊べる空間をつくっていく事業です。

質問 清流苑と室内温水プールの、二酸化炭素排出抑制対策事業の概要説明を。

答弁 清流苑とリフレッシュタウンまつかわの里温水プールに木質バイオマスボイラーの設置の可能性について調査するもので、補助率は100%です。二酸化炭素の排出量抑

制と燃料費の削減について木質系の資源量と事業の可能性を調査するものです。

質問 財政調整基金繰入金減1811万円の内訳の詳細と減の理由は。

答弁 住宅リフォーム補助が350万円の減、店舗リフォーム補助が250万円の減。古町水路橋概略設計書作成業務が800万円の減。そして固定資産土地鑑定評価業務が421万2000円の減ということでございます。基本的な部分ですが、単年度で終わるものを基本とし継続的につながるものでどうしても当初予算を組む時に等取り崩していかなければ

ならなかった部分ですが、ある程度この段階で繰越金が見えてきたということでの部分を落として住宅リフォーム補助と店舗リフォーム補助は継続ですので、その分を減額した。

質問 発電事業特別会計が30年度決算の繰越金として収入になっているが、そのまま一般会計に繰り入れて、売り上げと、財政調整基金への繰り入れの他に子育て事業に使っていくことになっているが、歳入全体と歳出の内訳が分かりにくい、特別会計内で収支を明確にできないか。

答弁 年度ごとの収支は監査報告において説明されている。会計の

性質上、事業の収支は一般会計で行っている。発電収入の利益分は、平成29年度から小中学校の入学祝い金にH29年度が480万円、H30年度が440万円充てている。

質問 保養宿泊施設特別会計で繰越金が200万円余り入っているが、基金への繰り入れが無いまま予備費に入っている。基金残高の少ないなかで繰り入れない理由は。

答弁 ある程度運転資金を持つて置きたいことと、施設の急な故障に対応したいため。

質問 空き家情報バンクの現状と登録料15万円の内訳を。

答弁 現在空き家4件はすでにネットに載っている。5件分(1件当たり3万円)を追加するものです。

質問 自治会集会所施設整備事業増の説明を。

答弁 鶴部自治会と寺沢自治会から机や椅子、床の絨毯化でバリアフリーにするための補助金です。

質問 名子原体育館と

福与体育館の委託料の増は。
答弁 町民体育館の耐震工事により代替え使用するための増です。



バイオマスの活用で取り組む、地産地消(木質パウダーの製造)

令和元年度 松川町一般会計 第2回(9月)補正予算案の概要

補正予算総括

単位：千円

補正予算額	補正前の額	計
112,853	6,280,902	6,393,755

主な補正予算内容

●歳入

単位：千円

科目	補正額	主な増減内容
国県支出金	21,617	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育保育無償化関連補助金 (+4,860) ・ 社会資本整備総合交付金 (△17,700) ・ 地方創生推進交付金 (+8,000) ・ 農地耕作条件改善事業補助金 (+5,980) ・ 農村地域防災減災事業補助金 (+3,500) ・ 発掘調査関係委託金 (+12,016)
繰入金	△11,975	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電事業特別会計繰入金 (+6,137) ・ 財政調整基金繰入金 (△18,112)
繰越金	87,062	・ 平成30年度決算による
諸収入	10,979	・ 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (+9,979)

●歳出

単位：千円

科目	事業名	補正額	内容
総務費	基金積立	13,200	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金 (+9,863) ・ 「くだものの里まつかわ」 応援基金 (+3,337)
商工費	地方創生推進交付金事業	16,000	(一社) 南信州まつかわ観光まちづくりセンターへ以下の事業を委託します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光PRツール一元化事業 ・ 観光ワンストップ窓口システム、WEBサイト構築事業 ・ 観光まちづくりセミナー
	二酸化炭素排出抑制対策事業	9,980	まつかわの里における燃料費のコスト削減を研究するため、木質バイオマスボイラー導入可能性調査等を助成金を活用して実施します。
土木費	道路維持関連工事	15,400	側溝整備などについて、緊急に対応すべき箇所の工事を進めます。
教育費	遺跡発掘調査	12,016	馬坂遺跡及び竹越遺跡の発掘調査を行います。



二酸化炭素排出抑制対策事業は清流苑の木質ボイラー導入に向けた調査費である。高森町や飯田市でも既に実施している。先進地を調査して実施できると判断してから調査すべきである。

佐藤議員

反対

討論

だより

社会文教 常任委員会

9月11日（水）に社会文教常任委員会を行い、

分担し、能率的に処理するために設置された機関です。

社会文教常任委員会とは、住民税務課・保健福祉課・教育委員会及び議会事務局の分野を担当しています。

質問・意見

答弁

①保育所の備品購入費、14万円はどのようなものか？少し高くないか？

②風疹対策システムの改修とはどのようなものか。

③風疹対策の現状はどうか。対象者には抗体検査を受けてもらえるように積極的な取り組みをお願いしたいが。

④旧青年の家、名子原体育館、福与体育館の委託費42万9,000円の増はどのような理由か。

⑤県民コンサートは珍しい試みだが、どのような経緯で実施することとなったのか。

⑥生田教員住宅不動産鑑定料25万円はどのようなものか。行政財産の処分は公平にしてほしいと思うが。

①安全配慮のため、フェンス3枚、アンカー12本を取り付ける。1枚のフェンスに4本のアンカーが付いている。

②健康管理システムの予防接種の部分に、風疹項目を新たに設ける。

③8月21日現在全国で2,108人の累計患者がいる。松川町では588名の対象者に対し92名が抗体検査を受け、定期接種に至った方は14名である。取り組みを進めていきたい。

④町民体育館の耐震工事で体育館が使えない。そのため他の体育館の利用が増えており、鍵の管理などの委託費が必要となった。

⑤毎年町民体育館で行っていた音楽会が今年は工事のためできない。毎年参加の団体は衣装替えなどの関係で、不参加なので、松本交響楽団に来てもらうことになった。来年以降は今までの音楽会に戻す考えだ。

⑥購入希望があり、売却を前提に鑑定をする。売却は公募し、入札を行い公平にする。



旧青年の家を視察



設置された床置き式エアコン

調査・研究

午後1時から旧青年の家、町民体育館の工事状況、松川中学校のエアコン設置について現地調査を行いました。

総務産業建設 常任委員会

総務産業建設常任委員会とは、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・環境水道課・建設課・会計室の分野を担当しています。

委員会

9月9日（月）に総務産業建設常任委員会、委員会ごとに現地調査を実施しました。

※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査を

質問・意見

答弁

①給与システム改善業務99万円の詳細と、導入のメリットは。

①昨年4月から委託業務をTKCに切りかえた。会計年度任用職員制度が来年4月1日から始まるので機能を追加するための計上である。以前は職員が給料を手計算で行い、データを電算へ送っていた。導入により、職員の負担が軽減され誤りも減る。

②農業振興費の収入保険手数料補助50万円と凍霜害の利子補助7万9,000円はどのようなものか。

②収入保険補助は基準収入が補助の基本になる。基準収入1,000万円です。事務手数料2万2,000円でその2分の1を補助する。50人分で計上した。利子補助は約16名分を計上した。

③創業支援事業費は当初予算100万円、今回補正100万円で計200万円になる。事業内容は。

③骨格予算で1件、農家のシードル醸造所の開設を計上。今回精密事業1件を追加した。

④企業誘致対策費626万円の業種は。

④業種は多岐にわたり、製造業他、6次産業が主になっている。

⑤自治振興費に20万6千円計上されているが、バリアフリー化整備事業の現在の進捗状況は。

⑤2自治会よりバリアフリー化の要望があり計上した。平成28年度よりスタートしたバリアフリー化事業であり、今回を含めて20件あった。

⑥松川インター第2駐車場の看板設置費30万円はどのようなものか。

⑥目的外駐車が多いので、ルールを定め看板に明示し設置する。

⑦「子供の居場所」木質空間整備事業、林業費補助金の歳入にあるが。

⑦清流苑営業費に15万3千円、スポーツ施設運営費に29万6千円、合計44万9千円の財源補正を行う。今後購入する木のおもちゃの費用にあてる。



進まぬ後利用問題（旧青年の家）



老朽化により改修予定の上新井公衆トイレ

調査・研究

旧青年の家、県道飯島飯田線県道改良事業予定地、町道59号線改良事業代替地、上新井公衆トイレ現況などの現地調査を行いました。

陳情

リニア開業に向け主要地方道整備を早急に

下伊那北部ブロッ

ク町村議会8月8日

(松川・高森・豊丘・

喬木・大鹿議会)と

中部伊那町村議会協

議会8月26日(松川・

飯島・中川・大鹿議

会)は、令和元年度

の県への陳情項目12

件をまとめた。

松川町よりの要望

事項は、

① 主要地方道「飯島

飯田線」飯田以北

の整備促進につい

て

② 障がい者とひとり

親家庭の福祉医療

費窓口無料化の実

現

以上2件と他10件を

各町村の正副議長が

9月19日と10月15日

に、県議同席のもと、

太田副知事及び各担

当部長と県議会担当

委員長に

陳情。

あるべき議会・未来の議会

中部伊那町村議会

研修会では長野県町

村議長会の副参事兼

担当課長宮寄康史氏

を迎え

① 議員定数や報酬、

なり手不足が問題

視されているなか

で、なぜ今「議会

改革」なのか。

② 議会のあるべき姿

とは、町の政策を

最終的に決定する

権限がある。行財

政運営の批判・監

視について。

③ 未来の議会は大規

模な制度改正がな

い限り、外形は変

わらない。議会の

権限は少しずつ増え

ていき、町村ごとに

特徴が現れる。

など多岐にわたり説

明があった。議会は

何をやる機関なのか、

機能は。情報の公開

だけでなくもつと住

民へ発信していく必

要性を感じた。

のきのき 会ごき 議うごき



待たれるデマンド交通

生田循環線 デマンドタクシー導入にむけて

令和2年生田循環

線デマンドタクシー

試験運行に向け、総

務産業建設常任委員

会では現状の運行状

況の視察を行った。

7時30分に社協前

を出発し

中山から

峠・部奈

を經由し元大島駅や

役場を經由し清流苑

へと向かった。6、

7名の乗車があり、

いずれも定期的に利

用されているとのこ

と。

試行では11時半以

降2回のデマンドタ

クシーを運行する。

11時半便は診療後・

買い物後の帰宅、15

時半便は買い物後の

帰宅を主な利用者に

設定。利用者は利用

1時間前に電話にて

予約する。

料金設定は今まで

の基本運賃に200

円増となる。(無料

対象者あり。)

議会では10年以上

前からデマンド交通

について提案をして

きている。住民から

も空バス運行の指摘

を戴いており、今回

ようやく試験運行さ

れることになった。

買い物難民や免許

証返納者の方々にと

つて利便性のある

ものになるように、

議会として注視して

いく。

行政に厳しく



町村議会広報クリニックス

令和元年度町村議会関東・北信越広報クリニックスが7月9日に全国町村議会会館でおこなわれた。参加町村は26町村でクリニックス受診は5町村であった。当町では議会だより4月発行143号のクリニックスを依頼し、議会研修誌の「地方議会人」で議会の広報クリニックスを担当掲載されている吉村潔氏からその診断を戴いた。

表紙

● 町民投稿の俳句が良い。
● 目次案内が目立っていて良い。

● P2・3【定例会概要】タイトルつつこみが激しい。

● リード文がありきたりでなく良い。
● 予算と繰入金がかかる説明を。

● P4・5【定例会総括質疑】リード文にもう少し余裕を。

● 再質問的にまとめてあり面白い。
● 見出しも面白くなっている。

● P6・7【補正】タイトルはインパクトあり。

トあり。

● タイトルが枠組されているが、枠がなくとも良い。

● P4と同じようなタイトルになっている。
● 質問、答弁などの文章は簡潔で良い。

● P8・9【委員会だより】タイトルがはつきりして良い。
● 全体的に簡潔にまとまっている。

● 知ってほしいものを取り出して見出し化しても良い。
● 調査、研究で事業説明があると良い。

● P13【議会と語る会報告】議会と語る会の報告は住民に報告すべき

ことであり、きちんと掲載すべきである。

● 議会の考えも加味して掲載すると良い。

● 意見は地域別にただ掲載するのではなく、地域特有の悩みや大きな課題を中心に掲載するのも良い。

● P14【一般質問】見出しも良い、白黒を活かしており、解りやすくまとまっている。

● 問でグレーの網かけになっているが行間を狭くしているの半行開けると良い。

● 見出しで主語が無いとわからない。

P20【この町に暮らして他】

● 町民投稿依頼は大変であるが誰に聞けばわかるかを知っていることが大事であり、区長さんなどとの関わりで人を探して貰える。

● 学校の先生との関わり

【全体】

りが大切であり、キャリア支援になっている。

● 議会として行政に対して厳しく見ていることが読み取れる。

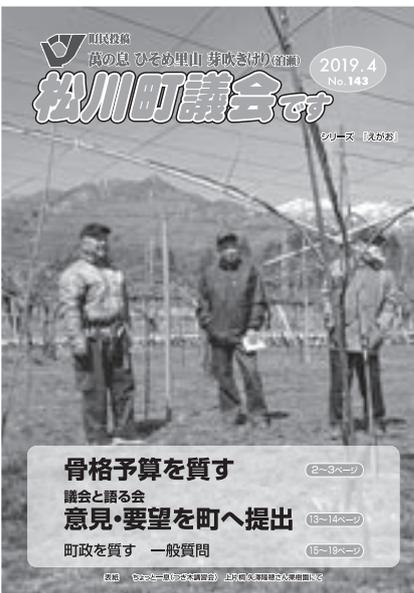
● 議会としての議会だよりになっている。
● ポイントを絞ってある。

● わかりやすい工夫が見られる。



「議会として行政に対して厳しく、本来の議会だよりになっている」と、お褒めの言葉を戴いたことは広報部一同にとって励みとなりました。

今後の課題として読み易い冊子にするには簡潔な文書にまとめること。リード文で読者を惹きつける工夫が必要である。余白やスペースの使い方について指導を戴いたので順次取入れていく。単なる報告だけになるのではなく議会としての視点と考えを掲載していくことが必要であると感じました。



議会だより143号を手にとって皆さまも講評してみてください。

日々の暮らしを話すように 町政を話しませんか？

松川町議会では、より多くの地域の皆様からご意見をうかがい、町政の場へ届けていきたいと考えています。

今年の語る会では、議会報告と共に、小中学校の保護者をお願いしたアンケート結果にもとづいて、

①教育について②議員のなり手不足についての、意見交換をしたいと思います。

また、地域の皆様からのご意見をさらにお伺いしたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

令和元年度 議会と語る会 19:00~21:00 主催：松川町議会

名子区10月18日📍 名子地区公民館
上新井区10月22日📍 上新井地区公民館
生田三区10月23日📍 部奈文化伝承センター
上片桐区10月24日📍 上片桐地区公民館

古町区10月25日📍 古町地区公民館
大島区10月26日📍 上大島公民館
全地区11月1日📍 役場大会議室

◆各地区の会場では、該当地区在住の皆様のご参加をお願いいたします。

◆最終日(役場大会議室)は、都合などにより各地区会場へ参加できなかった皆さんを対象に開催いたします。

ただ 町政を質す！ 一般質問

- 1 中平文夫議員（14 ページ）
・子育ての支援事業について
- 2 森谷岩夫議員（15 ページ）
・くだもの里松川町を、維持・発展させていくにはどうするのが良いか
・副町長の町に対する今後の抱負について
- 3 坂本勇治議員（16 ページ）
・リニア時代を生かしたまちづくりをどう進めるか
・安全安心の町づくりが基本
- 4 島田弘美議員（17 ページ）
・持続可能な自治会組織運営は大丈夫か
・商店街（商業）の賑わい創出事業について
- 5 米山郁子議員（18 ページ）
・第5総合計画改訂版へのSDGs 導入は
・男女共同参画に向けた施策の考えは
- 6 川瀬八十治議員（19 ページ）
・まちづくり懇談会を傍聴して町の入札はどのように行われているか
- 7 佐藤史人議員（20 ページ）
・町の農政はどう取り組むのか
・令和2年度の予算編成にどう取り組むのか
- 8 黒澤哲郎議員（21 ページ）
・人口減少問題に対する考えは
・日本一の職場について

一般質問は議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しています。本会議での傍聴をお待ちしております。

お知らせ



チャンネル・ユー 議会番組のお知らせ

「議会の時間」は毎月の議会活動の内容を、概ね第3月曜日午後7時より放送を予定しています。

再放送も併せて詳しくは番組表をご覧ください。

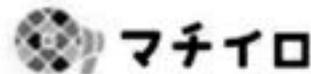


定例会及び各臨時議会の議事録、一般質問等に関しては図書館にて「松川町議会会議録」としてご覧いただけます。尚過去の会議録も含めてご覧いただけます。

今月の表紙

雨が心配されるなか開催された名子中央保育園の運動会。来年入園されるお子様と保護者の皆様の楽しい1コマです。

議会だよりがアプリで見れる



マチを好きになるアプリ



QRコードからもダウンロードできます

人事

人権擁護委員

令和2年1月1日から3年間



木村 寛氏
新任

人権擁護委員

令和2年1月1日から3年間



北村 稔氏
新任

問 子育て支援の質と量の充実度は

答 更に精度を上げる努力をする

(問)現在の平均的保育料、及び保育士の人員配置は、近隣と比較してどのようであるか。

(町長) 保育料は階層により差があるが、一番多い階層で近隣と比較しても、安く設定されている。人員配置については、住民サービスとして国で定めている基準の1.5倍を目指しているが、専門職でもあり、募集状況は厳しい。

隣と比較して安いと言われているが。

(町長) 実際どのようなか調べた結果、短大卒の初任給を比較しても同じである。多少運用方法で違いはあるが、毎年正規職員の給与改定もあり、併せて非正規職員についても採用から10年までは毎年昇給もある。特別他の近隣より安いと言う認識は持っていない。

がある。

(問)第5次総合計画では、核家族化が進み、地域との繋がりも希薄になる現状で「育つ力」「支える力」「育てる力」を中心に、社会全体の責任として環境を整えてサポートすることとした。子ども支援事業について、昨年アンケートを実施し高い関心が寄せられたが、今後どのように活用していくか。

(意見) 松川の保育料は安く設定されている。臨時交付金の額で、現在の保育料相当分は十分確保できると予想される。町独自で副食費の軽減を図っているが、更に支援できることはないか、検討する必要

(こども課長) ニーズ調査では8割、サービス利用では半数の方が利用し、認知されているものと認識する。本年度策定する第2期支援事業計画の中で協議し、次期計画に何が盛り込めるかを検討検証し



みんなの協力で「りんご」も「なし」も大豊作
この子たちの未来をサポートしよう

ていく。

(問)事業のなかに「長野子育て優待パスポート」がある。昨年度の反省で、協賛店舗への周知不足となっていたが。

(こども課長) 全国どこでも利用できる制度

であり、町内でも54店舗に協力を頂いている。今後も協力店舗、企業へのお願いを徹底する。

(意見) 消費税が引き上げられ、協力店舗、企業の負担も多くなる。双方がウインウインの関係になるよう、行政

としても考えるべきと思う
(町長) 慎重に検討しなくてはいけないが、よい提案と考える。

(問) 保育士のみならず職員の人材育成の現状は、基礎知識の習得、実務研修に重点がおかれ、県内での研修で完結し、「井の中の蛙」状態である。視野を広めるべき研修方法を考える必要があるか。

(町長) 限られた予算での研修である。この町を背負っていく職員を、いかに早く育てていかなければならないかと考えている。次年度は懇談会へ若い職員を参加させ、話ができるようにすると併せて予算も頂けるようにしたい。

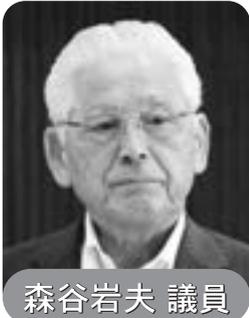
(意見) 「井の中の蛙」状態からの脱却が必要。



中平文夫 議員

問 くだものの里松川町をどう維持するか

答 今以上の特色創出と、農業者の意識改革を



森谷岩夫 議員

(問)果樹園経営者が老齢化するなか、後継者のいない農家が増えている。このままでは近い将来作り手のいない果樹園が大量に出てくる。「松川町と言えはくだものの町」と言われる財産は、先人たちの大きな努力で培われたものだ。どこにでもある市町村にならないために、松川町のキャッチフレーズは大事にしていきたい。そのためにも果樹産業の維持発展を施策として打ち出す必要があるが、約600戸ある経営農家の



梨産地の名声は取り戻せるか

うち、認定農業者は136戸。人・農地プランの更新調査の数字では地域の中心となる経営体の登録は57戸だ。その内法人は6つだけ。新しい経営農家を増やしていくことや、本気の農家に土地の集積をすることを強く進めべきだ。

(町長) 若い皆様は、特色ある農業をどう作り出していくか、懸命

を解決していくという考えは、初めは消極的な意見が多いが何回も話すとその地域で生き残るために、意見や考えも前向きになってくる経過もある。こういった取り組みを通じて農家の意識も少しずつ変えていく努力をしたい。

(問) 私は以前から町や農協で農業公社の設立をして、できなくなった農地を一時的にそこでストックし、都会から果樹経営を夢見る若者を公社で雇い入れ、技術や経営能力をつけさせて独立させる方法を提案してきた。この5年間ほどで支援センターが49ヘクタールの農地の賃貸借と、12ヘクタールの売買を成立させてくれた。努力に敬意を払いたいが、まだ多くの農地が出てくる。今回、松川町版農

業担い手育成事業が提案されて、6月の補正予算で440万円の予算を盛った。期待してよいか。また実際にこの部署が入ってきてくれた方たちの面倒を見るのか。

(産業観光課長) 地域協力隊の交付金を使う事業だが、今募集の最中で一組の夫婦が応募してくれた。今年度は三組の予算だが、こちらも相当の覚悟をもつ

て受け入れ態勢を整えていく。ワンストップのような窓口は、今は作れないが支援センターでそれぞれの形に対応している。3年間のうちに、住居や土地や農機具などの準備をして、本人の意向を踏まえて支援していきたい。地域の皆様のご支援も大事になるし、関係機関や指定農家の協力もお願いしていく。

問 副町長がめざす今後の抱負は

答 町長と日本一の行政組織を目指したい

(問) 県職員をなげうつて松川町の副町長に就任いただき感謝したい。今後どんな町づくりを目指しているのかお聞きしたい。

(副町長) 7月8日に着任して2ヶ月余りたった。宮下町政に対する町民の皆様の期待をひ

しひしと感じている。町長の公約実現のために頑張りたい。特に活力ある町を維持するため行政組織を日本一にしていくことに力を入れた。率直な意見を職員が発言できる風通しの良い職場風土を作りたい。

問 リニア時代を活かしたまちづくりは

答 総合計画に盛り込んでゆく

(問)三遠南信自動車道やリニア中央新幹線の開通が8年後に控えている。

6年前の9月に路線決定し、飯田下伊那地区に駅が出来ることが発表された。その後、リニア新幹線について、幾度となく講演会も開かれてきた。

リニア新幹線はよく飛行場に例えられるが、私は飛行場より、より速く便利な移動手段だと考えている。

飛行機を移動手段とすると国内線利用でも1時間前には飛行場に



坂本勇治 議員

着いていなければならぬ。又、たいいてい飛行場は広く、入り口から手続き、搭乗までの徒歩での移動距離も少なくない。それに比べリニア新幹線は、駐車場や、バス停は駅舎のすぐそばに在り、定期券や切符さえ持つていれば、数分前に駅についていれば良い、松川町に住んでいて、1時間以内に東京都内の主要な場所はもちろん、国際線にも行ける地域になります。

しっかりとしたまちづくりの計画と実行力が将来の町のために欠かすことが出来ないと考えている。

ようやく最近、具体的な飯田駅周りや座光寺PAのスマートイン

ターなど、又、国道153号線の改良促進期成同盟会など、進められているが、町の取り組みが未だに見えない。第5次総合計画も4年前には数行しかなかった。改訂版を進める中で、高速交通網を見据えた時代の松川町の町づくりをどの様に進めるのか。

(町長) 今は具体的にないと思ってる。現在担当課においてリニア新幹線開通後の町の将来について語る会の立ち上げる準備をしているが、すぐに何かを造るなどは考えていない。しかし、移動時間が縮まる事でライフスタイルの提案はできると思っている。総合計画に盛り

込んでいけると思っている。

(問) 関係人口を増やす一つの手段として、通信環境の整備が大事だと思いが、町のWi-Fi環境は非常に遅れている。近い将来の通信環境について5Gを含めてどう考えるか。

(町長) 5G・第5世代移動通信システムは、今の300倍以上の速度で通信ができるので話ですが、まだ実態はつかめていない。Wi-Fiも含めてチャンネルユーと協議しながら検討している。松川町単独でやるより、他市町村も絡めてやった方が金銭的にも、地域の連携上も必要と思いい検討を進めている。

(問) 三遠南信自動車道は1時間に数千人も移動できるキャパを持っている、観光人口増などにつながる、魅力発信の考えは。

(町長) 中京圏を対象に果物観光を皮切りに、アウトプランニングとインタープランニングで地域の生活を見た、体験したい、の要望に答えていきたい。

(町長) 生田のリニアの残土の受け入れの問題解決が先延ばしされている。36災では福与地区の4河川が生田の上流の土砂により農地と

安心安全の町づくり

住宅が埋まった。谷に残土を埋めるのはあり得ない危険行為だ、安全安心のまちづくりが基本だと思いが。

(町長) 結論を早くしたいという気持ちは私も同じだ。住民同士がしっかりと話し合うことが大事だと考えている。

(提案) 本来の目的が県道22号線の改良だと聞いている、改良を目指し進めるだけで解決すると思うのだが。



高速交通網をどう活かすか早急な検討と実行を

※5G(ファイブジー)2020年春にサービス開始を予定している次世代ネットワーク(第五世代移動通信システム)

問

持続可能な自治会組織運営は大丈夫か

答

総合計画改訂版で検討していく。

(問) 高齢化、人口減少時代を迎え、自治会組織運営に格差が懸念される。町民の福祉向上が平等に行政サービスが行き届くか危惧されるが認識は。

安否確認が遅れることが心配だ。

(町長) 現在自治会72、区会8有るが人口規模としては他町村と比べ多いと感じている。また自治会への加入率も減少、脱退者も増加傾向にある。メリットは小さなエリアの中で情報伝達等が迅速にできること、デメリットでは防災面で未加入者の

(問) 人口減少、高齢化により特に小規模自治会再編の必要があると思う。地域現状に即した対応を図る為には難しい局面を打破していく必要がある。再編の是非は近い将来必ず来ると思う。現状での分析や地域住民との話し合いなどで行政として方向性への考えは。

(町長) このままでは今後難しいという声も聴く。第五次総合計画改訂版の中で持続可能な地域づくりを中心に考えて行く。地域に合った組織づくりは将来に向けて考えて行くには良い機会だ。その中で町の下請けみたいな組織でなく将来的に

は決定権、予算も下していくことも必要だ。(課長) 自治会の困り事は役員が何度も回ってくる、高齢化による

担い手不足、自治会活動への参加が困難という声がある。新たな自治会への取組は人口減少の観点から必要と考える。持続可能な自治会として全国に先進事例もあり学習会を通じて支援していく。

問

商店街の賑わい創出に向けた地域活力どう考える

答

頑張る商店街づくりに共に考えていきたい

(問) 経済センサスによれば当町の卸・小売業のマーケット水準は縮小傾向にある。かつての町の顔としての商店街の華やかさが見られなくなった。更に来年は大手ドラッグストアとコンビニが上大島に進出する。今以上に地元商店街に打撃。今の姿をどう感じているか。

(町長) 松川スタイル研究会を立上げ、様々な策を練り頑張っている。またチャレンジショップによる空き店舗利用や27、28年には今後の方向性の検討、先進地視察等対策に取り組んでいる。来年はドラッグストア、コンビニが上大島に出店する

が当町には大手チェーン店がなく地元商店の

凄さを感じている。

(問) 賑わいを取り戻すためには何が必要か。例えば商店街一体にイルミネーション、ランタンの設置など町外から人が来る。仕掛けづくりが必要だ。対応を真剣に考えるべきと思う。商工会、地域住民、行政を交えた商店街の在り方検討会設置を希望する見解は。

(町長) イルミネーション、ランタンは生活の拠点としてまた居住空間として癒しの側面がある。これからの商店街は高齢者視点も含め考えていく必要がある。地域に必要な店づくりに人材の育成など多くの声を聴いて考えて行く。今松川町に映画製作の話がある。これはお笑い兼業農家が「未完

成映画予告編大賞」受賞がきっかけ。撮影は新井商店街や七相神社他で行われる、商店街の起爆剤になればと思う。

(課長) 現在地域おこし協力隊と連携し賑わい創出に向け商業者、住民を中心に意見を聞いているが、行政への期待が大きい、核となる人の必要性、資金的な問題などの様々な見がある。行政も関わる中、松川スタイル研究会、地域住民を交え方向性を示したい。



島田弘美 議員

いっぱん質問



現在の新井商店街

問 総合計画へのSDGs導入は

答 導入していく方向で進めている

(問) 国、県の取り組みであるSDGsを目標とした第5次総合計画改訂版を作成することについての考えはあるのか。

(問) 環境問題においては重要な目標である。第5次総合計画にも掲載されているが一歩進んだ取り組みが必要と考えるが。

(町長) 環境問題だけでなく、町の自然は資源として、自然を生かした山保育や有機農業で作った物を使った食育、観光に生かしていきたい。

松川の自然環境とSDGsが合わさった基本計画になるのではと考えている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



SDGsは持続可能な経済発展のための目標

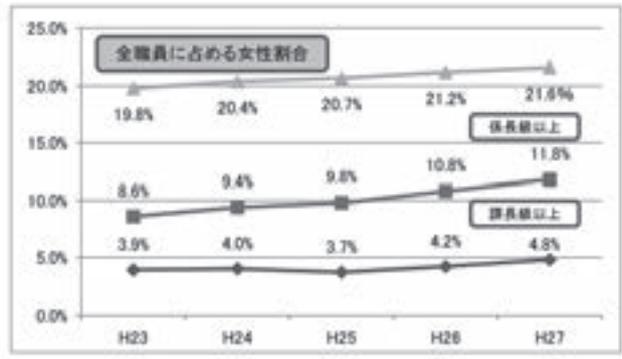
問 女性が活躍できる体制は

答 クウオーター制導入も検討している

(問) 長野県の審議会など委員に占める女性の割合の現状は44%、2022年までに50%男女同比率まで引き上げる目標としている。町として審議会や委員会などへの女性登用の状況についてと今後の方向性は。

(問) 一人一人のニーズに応じて、子育てと就業ワンストップで支援する体制は。

(町長) 現状の登用比率は平成30年度24.3%である。クウオーター制導入も検討しているが、やみくもにいきなり50%というような状況ではない。各会の代表とか充て職のような委員会が多かったが、今年から代表者の負担軽減という観点からも、各組織の中で、気持ちのある方、向いて



長野県女性職員登用の現状

(町長) 県の女性就業支援事業の一環として本年度就活の準備から就職までをサポートということなどで女性相談員による就業相談を10回計画している。試験的ではあるが、乳児、幼児検診に来た時に就業相談ができるような検討もしている。

(問) 役場職員の課長職への女性登用は計画しているのか。

(町長) 女性の課長職登用の気持ちはあるが、計画は無い。適正を見ながら判断していく。

※クウオーター制 政治システムにおける割り当て制度

町の入札は適正に行われているか

平均落札率は高い傾向にある

(問)町長就任以来5か月目に入りました。本格的な運営に向けての気持ちは。

(町長)まちづくり懇談会等をおこない住民の生の声を聴き、良い住民主体のまちづくりを目指していきたい。

(問)町単土木工事で入札の設計価格積算は町で行っているのか。

(建設課長)町単の土木工事は、職員の方で現地に赴き、測量して設計書を作成している。県の建設部の単価を使用しており、県の積算

システムにおいて設計書作成をしている。

(問)落札率については、平均でどの位の数字になっているのか。

(まちづくり政策課長)競争入札による入札の平均落札率は令和元年9月2日現在で90・9%、平成30年度は95・3%、平成29年度は92・0%である。

(問)平成27年度からの入札結果を見ると、設計価格は100%で落札されている。施工価格についても99%とほぼ100%に近い数字で落札されている。業者が落札予定価格を知っているかのような数字であるが。

(町長)平均落札率では高い傾向にあると思う。通常妥当な工事費用を積算して、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって落札した。結果、作弄的なものではない。

(問)町単土木工事の入札については競争原理が働いているが、建設の入札は全く競争原理が働いていないように感じる。町長しか知らない数字の金額が判っているような落札価格である。漏れてはいないのか。

(町長)落札率が高い傾向が続くと、結果的に競争原理が働いてないという感じが出てくる。さまざまな思惑が出てくるのは、仕方のないことだ。公正を害する具体的な事案があれば、調査しなければならぬ。今

やらなきやいけないことは、疑いを持たれないように透明性のある公正な入札制度を今、全力でやっている。

(問)町民体育館耐震補強工事の入札は、宮下町長になってから初めてのことである。当初

の入札日から日程変更があつたが、これについての理由は。

(町長)初登庁から3日で平成31年度予算の1番大きい予算の入札を、登庁から3日ではとても検討する時間がなかった。その中で確

私に全部責任をとりながらやっていきたいと思つている。町の職員を矢面に立たせて私が引つ込むというようなことは無い。

(提案)町税を有効に使われることに町民は願つています。

認をしてきた。
(問)町長の発言はいつでも何処にいても重みのある発言だと思つ。議会での発言、公的な所での発言、また行政を語る場所での発言などは個人の意見でしたとはいかないが。

(町長)私の行動、言動は、町長ということですので、口が裂けても前のことはわかりませんとは言わない。

(問)駄目なことは駄目と、はっきり言える行政を町民が望んでいる。

(町長)本当にその通りである。

急がれる安心・安全 町体耐震補強工事



急がれる安心・安全 町体耐震補強工事



川瀬八十治 議員

町の農政にどう取り組むのか

問 農業を通じて人と人をつなぐ

(問) 災害に強い農業経営、町としての政策は何か。

(町長) 果樹の凍霜害防止対策として防霜ファーン設置や燃焼機材の補助金。台風対策に対しては防風ネットの補助金を出している。今後は果樹共済の掛け金の補助、収入保険制度の助成を行う予定。町のHPで気象情報サイトでおり、利用されている。

(問) 果樹以外の小規模農家支援は。

(町長) 町が国の青年担い手育成金を利用しJAのサポートをいただきながら支援している。農業未来塾では経営の根幹にかかわることから人をつなぐということまでをサポートしている。

(問) 農家にもよるが、主要出荷先がJA以外の個人という農作物もある。JAが営農指導から共済・金融に主軸を置く現状での町の役割は。

(町長) JAと協力し、農家の規模とか、作っている作物にとらわれず農業を盛り上げていく仕組みを考えたい。その勉強会を通して人と人をつなげたい。

(問) 増える耕作放棄地農地対策は。後継者について実情をどう把握しているのか。

(産業観光課長) 人・農地プランの策定。アンケートに基づく後継者の実情把握や農業委員会による農地利用状況調査、農地パトロールなどにより遊休農地の実態を掴み聞き取り調査をしている。農業団体を通じた情報収集に加え「みらい」での農業後継者の実態把握も。

(意見) 具体的な施策が打ち出せない現状から一歩前に進めるために役場に「農と食」について考え取り組む部署を設置していただき。農業を通じ子どもが安心安全な食で健康で育つ未来のために。

予算編成にどう取り組むか

問 住民の方が納得する予算

(問) 町長にとって初めての予算編成だが。

(町長) 第5次総合計画改訂版を作成中で主要な施策は10月から予算策定する予定。

(問) 平成30年度決算はどう生かすのか。

(町長) 行政評価の結果や決算の事業評価を使い、判断材料の一つとして各課で把握する。

(意見) 前町長が「観光と防災」に「選択と集中」で多額の国の補助金を投入。決算書と監査委員意見書を元に役場内で議論すべきだ。

(問) 行政評価・事業評価を具体的にどう分析する予定か。

(町長) 大変厚い冊子で解りづらい。各課で解りやすく誰が見ても

分かるように改編中。

(意見) 3年間に国から地方創生推進交付金を受けている。その多くが「南信州まつかわ観光まちづくりセンター」の観光事業を中心に使われた。ツリドーム事業など今年度も含めたシビアな事業評価が必須ではないのか。

(問) 予算編成の査定、公開査定はするのか。

(町長) 住民に関心を持ってもらう意味で公開査定はするの。

開査定は大変いい方法だと考えているが、現段階で「やる・やらない」まで決断してない。

(問) 町長が町民や団体と対話や情報収集する中での検討しようとしている新規事業は。

(町長) 現段階ではない。「住民の方が納得していた、ただけるような予算編成」喜んで信頼していただいて税金を納めていただける予算査定を目指して取り組んでいく方針だ。



“雑草におおわれた農地” おいしい野菜が採れた近所で評判の畑 (9ヶ月前)

問 どう考えている人口減問題と諸政策？

答 同じ処方箋では難しいと考える

(問)人口減の問題は全ての政策に通じる大きな課題である。所信表明でまだ示されていない諸政策の前提としてお聞きする。

(町長)松川町はさまざまな地域を抱えていて同じ処方箋では効かないと思っている。その地域に向いて一緒に考え一歩進めなければならぬ段階に来ている。第5次総合計画改訂版を使いながら早急に取り組まなければという危機感を抱いている。

(問)当町にとってこれからの人口動向はどのようなかたちが良いと考えているか。

(町長)人口増までは考えが及んでいない。適切な地域を保ちながら人口減を緩やかにしていくというのは前町長と同じである。人口は変わらないが、地域のために何かしたいという気持ちの高い人を育てていきたい。

お聞きする。

(町長)住民と対話しながら未来の自治組織を作り変えていく。まず町づくり懇談会を形式的なものから若い職員と一緒に考える対話的なものにしていく。これによって将来の町を背負う人材育成にも繋がると考えている。また、先進的な教育改革への取り組みや、農業体験などを通して魅力ある農業、特色のある農業への転換を目指していきたい。

(意見)住民の意識を揚げ住民と一緒に作り上げていく自治組織は重要で理想である。しかし脱退問題も含め、自分たちでは何ともならないと住民は役場に助けを求めているのが現状なのだ。この声を真摯に受け止め、今何ができるのか平行して検討し早急な対応をすべきである。また農業政策では議会は緊急提言も含めいくつかの提言を行っている。果樹成木を伐採から救う政策の実行や遊休農地後継者対策、法人化支援といった進んでいる状態にもかかわらず進んでいない。いち早い実行を求める。また、間もなく来年度予算の編成の時期となる。第5次総合計画改訂版作成もある。来年度予算にはしっかりと諸政策を盛り込み所信表明で示していきたい。



問 日本一の職場とは？

答 話ができる風通しのよい職場

(問)就任挨拶での日本一の職場を目指すためにどのような取り組みをしていくのか。気楽に話ができるように、だけでは到底実現できるとは思えないが。

(町長)さまざまな対応が求められる仕事の中心で、上の立場の者が矢面に立つ、また、会議で職員から意見が上がるやり甲斐のある職場、人が育つ環境を作っていく。まずは人間関係の構築が大切であると思っている。

(意見)現状多くの問題を抱えている職場である。職員の中途退職、昇任試験受検者がいないなどなど。良い職場にするには今一歩踏み込んだ仕組み作りが必要である。採用計画、人材育成、教育、人事交流、評価方法など工夫の余地は多い。意欲と行政力を上げ成果を出すことを期待する。



黒澤哲郎 議員



この町に暮らして

楽しみながら子育てができるまち

城北 伊藤 樹 来

私は、出身は県外ですが、長野県の企業に就職しました。そして、3年前長女の誕生を機に子育てのことを考え、妻の実家のある松川町に引っ越ししてきました。

松川町の冬は大雪が降ることも少なく、夏は湿度が低く、からっとしていて過ごしやすいです。

また、食べ物も美味しいです。特に旬の果物を味わうことができ、幸せです。

最初、坂が多いことや、山

が近いことに驚きましたが、晴れた日の青空に映える中央アルプスはどこでしか見られない景色であり、とても美しいです。機会があれば、登山に挑戦したいと思っています。

休日には、子供たちを連れ、子育て支援センター「おひさま」を利用しています。旧保育園ということもあり、広い室内運動場で子供と一緒に走ったり回ることができ、とてもありがたいです。

松川町は、自然豊かで、お



いしい食べ物があり、都市部にない魅力があります。町内には、保育園、小中高の学校、病院、スーパー、温泉、プール、室内運動場など必要な施設が揃っており、生活に困ることはありません。

少子高齢化や地方の人口が減少する中ではありますが、少しでも町に子供が増え、これからの町民が安心して暮らせる町にして欲しいです。また、子供が大人になってから住みたい、帰ってきたい町になることを願っています。よろしく願います。

I Have a Dream!

私には夢がある
未来に羽ばたく若者 ● 子どもたち

松川陸上クラブ (松陸JAC広域クラブ)
走る・跳ぶ・投げる事の好きな、小学1年から中学3年生の皆さん、あらゆるスポーツの基礎体力づくりができます。興味のある方、体験・見学歓迎、一緒に汗を流して見ませんか！誰もが無限の可能性を秘めている、No.1にならなくても、走り続ける努力が大事！ 毎週土曜日16時～18時
【松川中学校グラウンド (雨天時 町民体育館)】

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

あき

「秋深き 隣はなにをする人ぞ」元禄時代に芭蕉が読んだ、風情のある有名な一句です。最近秋らしくなったと思つたら、すぐに冬が来てしまい余韻を感じることも、なくなつたように思います。これも温暖化の影響でしょうか。

保育園、小学校の元気な運動会に参加して「この子たちの未来」をサポートしなくてはとつくづく感じました。

(中平文夫)

部 報 広	
(編集委員会)	
(部長)	坂本 勇治
(副部長)	大蔵 洋夫
(部員)	中平 文夫
	松井 悦子
	森谷 岩夫
	川瀬 八十治
	米山 郁子